

CONTENTS

P1 令和8年 励ます会理事長 新年のご挨拶

「はげまし」で振り返る2025年の主なトピックス

P2 警察庁長官・警視総監 年頭のご挨拶/トランプ大統領来日、警護警備を実施

P3 第44回全国豊かな海づくり大会～美(うま)し国みえ大会～

Member's Lounge 「なぜ日本の馬は世界に通用するほど強くなったのか」宇野高宏氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和8年
新年号

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

— No.592 —

令和8年 新年のご挨拶



一般社団法人
機動隊員等を励ます会
理事長 中村真一

機動隊員等の皆様の 活躍を祈念

明けておめでとうでございます。
会員の皆様におかれましては、清
なお気持ちで新しい年明けをお迎えの
こととお慶び申し上げます。

また、当会の運営にあたり、本部・
支部の幹部をはじめ会員各位のご協力
を賜り、衷心より感謝申し上げます。

国際イベント等 重要行事が多かった一年

昨年、大阪・関西万博は、準備の遅
れや会場設備の不安などがあったものの
2,558万人が来場し、大変な賑わい

世界の情勢を見ますと、米中対立の
激化や台湾有事リスクの高まり、ロシア・
ウクライナ戦争の膠着、不透明な中東
情勢など、地政学上の緊張が常態化し、
アメリカを中心とする保護主義による関
税引き上げの動きは世界貿易の障壁と
なっています。日本国内では円安や物価
高、実質賃金の伸び悩みが家計を圧迫
し、気候変動による農作物の供給リスク

をみせました。世界陸上
競技大会も9日間で60万
人を超える入場者があり、
国内の陸上大会では過
去にない盛り上がりを見
せました。警察は、テロ、
防災・減災、サイバーセ
キュリティ、感染症予防
など様々な課題に対し万
全の態勢で取り組んだ結
果、大きな事件事故もな
く無事に終えることがで
きました。トランプ米国
大統領及び李韓国大統領
の訪日にあたっては警護
警備を完遂されました。

また、天皇皇后両陛下
には例年の全国植樹祭、
国民スポーツ大会、全国
豊かな海づくり大会、国
民文化祭及び全国障害者
芸術・文化祭の地方行幸
啓に加え、戦後80年の節
目を迎える戦没者慰霊のた
め硫黄島をはじめとして
沖縄、広島、長崎を訪問
されました。これらの警
衛警備の任務も無事完遂
されました。

さらに、警護の抜本的
強化に係る取組みの真価
が問われる中、昨年の参
議院議員選挙にあたって
は、警察組織の総力を挙
げて選挙に伴う警護を完遂されました。

も深刻化しています。加えて、巨大地震
のリスクや自然災害の激甚化、後を絶た
ないトクリュー事案、サイバー事案、さ
らにはクマの駆除など警察には極めて多
岐にわたる困難な対応が求められます。
こうした厳しい環境においても、機
動隊員等の皆様には日々の訓練の成果
を十分に発揮していただき、無事重責
を果たされたいと確信しています。

当会活動への ご理解・ご協力を

当会は、我が国の治安維持の最前線
で奮闘している機動隊員等の皆さんを純
粋に民間の立場から激励・支援していこ
うという有志が集まり昭和49年に発足
しました。昨年は、本部および北海道か
ら九州までの8支部での機動隊員の皆さ
んとの交流激励会をはじめとして、警備
局長表彰を受けたれた全国優秀機動隊
員の皆様への研修支援のほか、大阪・関
西万博や広島・長崎平和祈念式典、沖
縄慰霊の日、警備、尖閣周辺をはじめと
する国境警備に対して、警備支援品を
寄贈させていただきました。これからも
それぞれの行事や警備支援について一層
充実させていきたいと考えています。
そのためには、会員の確保、財政基盤
の充実が必要になりますが、当会の会
員数は、ピーク時の12,000から現
在の1,100前後に大幅に減少してき
ました。この11・2年は、減少傾向に歯
止めがかかり、会員数は微増に転じま
したが、会員の皆様方におかれましては、一
人でも多くの方に会員になっていただ
けるよう引き続きご協力をお願いいたしま
す。また、法人会員の皆様には今年度
からの法人会費の引上げにご理解をいた
だき、誠にありがとうございます。
最後になりますが、昨年新たに加入され
た会員各位に感謝を申し上げるとともに、
全国の機動隊員等ならびに会員の皆様と
とて、本年がより実り多き年になります
ことを祈念して新年のご挨拶といたします。

「はげまし」で振り返る 2025年の主なトピックス

2025年は大阪・関西万博をはじめ大規模
模範警備が続いた一年であった。当会は
警備支援や機動隊員の関わる訓練見学
や式典に出席。本部・支部ともに会員と
機動隊員との交流激励会を実施した。

～ 今月の賛助広告会員 ～

共英製鋼(株)
五十鈴(株)
日鉄プロセッシング(株)
(株)佐藤ホールディングス
日鉄エンジニアリング(株)
新潟スチール(株)
協材砕石(株)
富士興業(株)
大阪製鐵(株)

1月

第31代警察庁長官に楠芳伸氏、
第100代警視総監に迫田裕治氏、
警視庁年頭部隊出動訓練観覧、
警視庁武道始式観覧、北陸支部激励会

2月

全国優秀機動隊員研修支援、大阪支部激励会、
千葉支部激励会、名古屋支部激励会

4月

警視庁機動隊新隊員合同訓練観覧、
大阪・関西万博警備支援、東北支部激励会

5月

警視庁機動隊親閲式観覧、
第75回全国植樹祭警備警備

6月

第52回定時総会・激励会、
警視庁災害警備総合訓練観覧、
沖縄全戦没者追悼式典参列、
沖縄県警察機動隊・国境離島警備隊警備支援

8月

広島・長崎平和祈念式典警備支援、
李在明韓国大統領訪日警護警備

9月

第40回国民文化祭警備警備、第79回国民スポーツ大会警備警備、
2025世界陸上選手権大会警備、北海道警察機動隊全体訓練観覧



土砂災害救出訓練を行う
北海道警察機動隊

10月

全国殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭参列、
トランプ米国大統領訪日警護警備、北海道支部激励会、
九州支部激励会、大阪・関西万博警備支援に対し
大阪府警察本部長より感謝状授与

11月

第44回全国豊かな海づくり大会警備警備、
警視庁機動隊新隊員合同訓練観覧、全国警察逮捕術大会観覧

12月

警視庁機動隊対抗レスキュー競技大会観覧、
全国警察空手道選手権大会観覧、中国四国支部激励会



警察庁長官 楠 芳伸

年頭の ご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、平素から、また、大変長きにわたって、機動隊員等に対して深い御理解と温かい御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月から半年間にわたり大阪・関西万博が開催されました。期間中、開閉会式やナショナルデー等に国内外要人を含めて数多くの方が来場し、国内外の注目を集めました。大阪府警察と全国警察が一丸

責任を果たすことができました。

また昨年は、「第75回全国植樹祭(埼玉県)」、「第79回国民スポーツ大会(滋賀県)」、「第40回国民文化祭(長崎県)」、「第44回全国豊かな海づくり大会(三重県)」に加え、戦後80年の節目の年における、沖縄県、広島県等への御訪問に伴う行幸啓に際し、皇室と国民との親和に配慮しつつ、御身辺の安全や歓迎迎送者の雑踏事故等の防止に努めたほか、万博開催期間中の7月に行われた第27回参議院議員通常

選挙では、街頭演説等に伴う要人警護に万全を期しました。

加えて、10月に東京都内で開催された「日米首脳会談」では、トランプ米大統領一行の身辺警護や訪問先等周辺の警戒警備を徹底して警備を完遂したほか、東日本を中心に熊による人身被害が深刻化したことを受け、特に被害の大きい岩手県及び秋田県に銃器対策部隊を特別派遣するなどして態勢を構築し、ライフル銃による熊の駆除の任務に従事しました。

こうした様々な重要課題に対応する全国の機動隊員等にとって、会員の皆様からの御協力や御支援は、大きな力となっております。

さらに、近年各地で激甚化・頻発化する豪雨のほか、発生が危惧されている首都直下地震や南海トラフ地震等の様々な災害にも引き続き備えてまいります。

警備の中核を担うこととなる機動隊等においては、その集団警備力を遺憾なく発揮してテロ等違法行為を封圧するとともに、災害対処能力を向上させ、いかなる事態にも迅速・的確に対処し得るよう、十分な鍛錬を続けてまいります。

皆様には、今後とも全国の機動隊員等に対する御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、全国の機動隊員等が国民の安全と安心を確保する「治安の最後の砦」としての誇りと使命感を堅持して、更に向上すべく努力を続けることをお誓い申し上げますとともに、貴会のますますの御発展と、会員及び御家族の皆様

の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。

で、年頭の挨拶といたします。



警視總監 迫田裕治

新年に 寄せて

明けましておめでとございます。

機動隊員等を励ます会会員の皆様におかれましては、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、平素から機動隊員の諸活動に対して深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、東京都議会議員一般

次ぎました。

また、機動隊は、東京2025世界陸上競技選手権大会に伴う警備や隅田川花火大会をはじめとする毎年恒例のイベントに伴う雑踏警備に従事したほか、大阪・関西万博開催に伴う警備に特別派遣されたところでもあります。

さらに、李在明韓国大統領一行来日やドナルド・トランプ米国大

選挙に始まり、参議院議員通常選挙や自由民主党総裁選挙といった民主主義の根幹たる選挙に伴う重要警備が相

続一行の来日に伴う警護警備については、直前に日程が判明するなど、切迫した状況の下で、また、厳しい情勢にある中での警備となりましたが、機動隊を中心に警視庁が一丸となり、警備を完遂することができました。

正に警視庁機動隊の真価が問われた一年でしたが、数々の警備を無事に完遂することができたのは、機動隊員等を励ます会会員の皆様をはじめとする関係機関や民間事業者の皆様、そして地域住民の皆様との御理解と御協力の賜物であると深く感謝しております。

さて、警備情勢は、時と共に移り変わります。最近では、要人警護、ローン・オフエンダーの脅威への対処、激甚化する災害への対応等が前面に出てきております

が、どんなに時代が変わろうとも、警備環境上最も厳しく、かつ、困難な現場で職責を果たすことを求められるのが機動隊であります。

「鎮めの先駆」として、機動隊こそが事態収拾のための先鋒であるとの覚悟の下、あらゆる警備事象に対する備えに万全を期すべく、これからも部隊としての結束を保ちながら能力・技術の練度を高め、都民・国民の安全・安心への期待に応えてまいります。

結びに、機動隊員等を励ます会会員の皆様には、今後とも機動隊員等に対する一層の御理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会の益々の御発展と、会員皆様方の御健勝・御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

トランプ大統領来日、 警護警備を実施

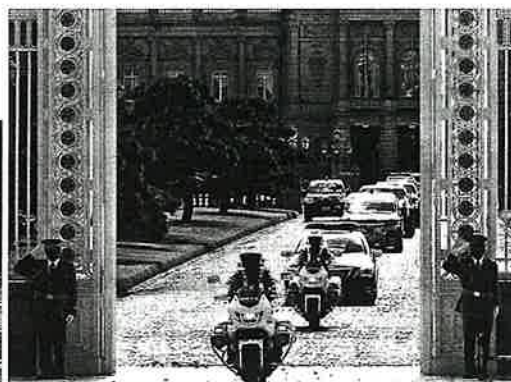
去る10月27日午後、米トランプ大統領が第二次政権発足後初めて来日した。来日に伴い、警視庁は副総監をトップとする特別警備本部を設置し、特別機動隊や方面機動隊を招集するなどして最大約1万8000人態勢で臨んだ。

東京都心では、多くの警察官が警備にあたり、厳戒態勢が敷かれた。警視庁は天皇皇后両陛下と会見を行う皇居周辺、翌日の午前にも高市首相との日米首脳会談が行われる迎賓館周辺などに多数の機動隊員等を投入。テロに備え、主要駅や羽田空港などでのパトロールも強化。都心部の一部では交通規制や検問が実施され、車両突入テロへの対策として大型車両や専用の柵を設置した。また、ドローン対策部隊や警備犬なども配置した。

トランプ大統領が宿泊する都内のホテルでは、来場者への手荷物検査が行われたほか、警察官が施設内を見回り、警備大に



宿舎(オークラ東京)付近での警戒警備



迎賓館を出る大統領車列

よる不審物の検索、不審な人物がいなかった厳重な警備を行った。

29日にトランプ大統領は日本を離れ、APEC首脳会議出席のため、韓国へ飛び立った。滞在中、警察当局は万全の態勢で警護警備にあたり、無事に任務を完遂した。

— 今月の賛助広告会員 —

新ケミカル商事(株)
日鉄建材(株)
合同製鐵(株)
日鉄テックスエンジニア(株)
三和運輸機工(株)
(株)ワークス

第44回

全国豊かな海づくり大会 ～うま 美し国みえ大会～



歓送迎者にお手振りされる両陛下(近鉄鳥羽駅)

上皇上皇后両陛下が御臨席されてきた全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護や漁業振興を目的とする行事である。1981年にスタートし、各地で開催されてきた。今年の開催地は1984年以来、2回目となる三重県。機動隊員が出動し、沿道や式典会場周辺の警備にあたった。

去る11月9日、天皇皇后両陛下は志摩市の阿児アリーナで開かれた式典行事に御臨席になられた。天皇陛下はお言葉で「幼少期に三重県を訪れた際に見た、海女の作業の様子や真珠の加工工程、緑に囲まれた青い海を船が行き交う風景は、自然豊かな海で営まれる漁業や、海とともに暮らす人々の日常が感じられるものでした。『受け継ぐ命あふれる清い海』をテーマに行われるこの大会を契機と



歓送迎者対応



警備犬による検索(式典会場)



警備状況(式典会場)

して、人々の海や漁業への理解と関心がさらに深まり、豊かな海づくりの輪が、ここ三重県から全国へ、そして未来に向けて大きく広がっていくことを願います」と述べられた。

式典後の宿田曾漁港(南伊勢町)の会場では、海上歓迎・放流行事が行われ、両陛下が式典に引き続き御臨席された。漁船による海上パレードの海上歓迎行事を御覧のあと、三重県が漁獲量全国2位の伊勢エビの稚エビ、年間約2000トンの漁獲量を誇るマダイの稚魚を御放流された。

警備においては、三重県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊が、両陛下の行幸啓先の沿道での交通規制や歓送迎者の対応を行った。また、式典会場周辺では不審物の検索などを徹底し、無事に警備を完了した。

-- 今月の賛助広告会員 --

日本製鉄(株)
日鉄物流(株)
(株)カノックス
太陽サカコー(株)
岡部(株)
日鉄ドラム(株)

一つ目の「わかりやすい」とはどのようなことかという、まず馬を生産する生産者にとって、どこを目指して馬をつくるかを示すこと(P4へつづく)

1. JRAの競馬の施設

私の経歴は、JRAに入ってから都競馬場に配属され、主にお客様へのサービスを担当する部門からスタートしました。いくつかの部署を経て、ハンディキャッパーと言って、馬やレースのパフォーマンスを評価する仕事を14年間務めてまいりました。ハンディキャッパー時代は日本の代表の随行で国際会議に13年間出席しており、2018年からはニューヨーク駐在委員事務所に4年間勤務しました。そのご縁もあり、今回は日本競馬の世界的な評価の高まりについて講演させていただきます。

まずJRAの競馬の仕組みですが、JRAの競馬場は、北は北海道から南は九州まで全国10ヶ所あります。毎週末、土日には必ずこのどこかで競馬を行っています。特に東京、中山、阪神、京都の4つの競馬場では発売金が多く見込めることもあり、この4ヶ所にできるだけ多くの開催日を割り振るようになっています。

茨城県美浦村と滋賀県栗東市には、トレーニング・センターがあります。トレーニング・センターでは馬の調教を行うほか、公正確保の観点から出走の10〜15日前からトレーニング・センター内に在きゅうすることが義務付けられています。そして競馬の開催日になると、馬運車に乗せられて、トレーニング・センターから競馬場に向いて出走する形になっています。馬は体重が400kg〜500kgあり、それを細い4本の脚で支えています。そのような馬の特性をケアしつつ、トレーニングを積まないことには馬は強くなりませんのでその観点から様々な調教コースを用意しております。その一例をご紹介します。芝や表面に木屑が散らばっているウッドチップコース、丘を上っていくような坂路と呼ばれるコースも設けています。手前味噌ですが、このように多様な調教コースを備えている施設は世界にもなかなかありません。こういった施設や調教環境を作ってきたことが、日本の馬の評価が高まった一因だと考えています。

Member's Lounge

機動隊員等を励ます会 11月の朝食講演会

日本の競馬は外国人居留地での西洋競馬からスタートし、戦後は政府が資本金の全額を出資する形で日本中央競馬会が行うようになった。現在では日本の競馬のレベルが上がリ、世界での評価が高まっている。なぜ日本の馬が強くなったのか、JRAの宇野氏に伺った。



〈11月20日のゲスト〉
うの たかひろ
宇野高宏氏
日本中央競馬会競走部
担当部長

プロフィール

1968年 大阪府生まれ

経歴

- 1991年 日本中央競馬会入会
- 2004年 栗東トレーニング・センター公正室ハンデキャップ役
- 2006年 美浦トレーニング・センター公正室ハンデキャップ役
- 2014年 栗東トレーニング・センター公正室主任ハンデキャップ役
- 2015年 栗東トレーニング・センター公正室上席ハンデキャップ役
- 2018年 国際部ニューヨーク駐在員事務所長
- 2022年 3月 競走部番組企画室上席調査役
10月 アジアパターナ委員会委員長就任
- 2023年 競走部担当部長
(グレード格付管理担当)

た開催日割を例年9月末に発表します。また、いつ、どこで、どのような競走をどのような順番で各開催日に実施するかを示したのが、競馬番組になります。これは春夏秋冬の3季に分けて発表されます。

2025年度のJRAの経営目標に、「GI競走を頂点とした、わかりやすい競走体系の構築」中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして位置づけられること「質の高い出走馬による、内容・頭数の充実した競走の提供(平地重賞競走は1競走あたりの平均14頭)」という三つがあります。

なぜ日本の馬は世界に通用するほど強くなったのか

(P 3 からつづ)

と。そして馬主や調教師がどの競走を目指すかを選択する目安を示すこと。そしてお客様に興味をいかに引いて継続的に追いかけてもらえるか、そういったものを示していくことが我々に課せられた仕事であると考えています。

また、発売金は我々が競馬を運営していく上で重要な要素になりますので一つの目標になります。1 レース毎の出走頭数が揃うほど発売金が上がるというデータもございまして、できるだけ多くの馬を揃えることはひとつの大きな目標になっています。

3. 日本の競馬の仕組み

次に、競馬がどのようなシステムで実施されているのかをお話しします。中央競馬のシステムは「新馬、未勝利」という、いわゆる0勝クラスからスタートします。一つレースを勝つと、上の「1勝クラス」に上がります。そこで勝つと2勝クラスとさらに上に上がり、最終的に目指すところは重賞競走となります。下から勝ち上がることで、賞金も高く、価値も高い重賞競走を目指し、頂点であるGⅠ競走を目指してもらおう仕組みとなっております。

こういった仕組みを通じてお客様にギャンブルの対象として面白いと思っただけでなく、かつスポーツエンターテインメント的な観点から見ても、競争性が高いレースを提供することで継続して興味を持っていただけると考えています。馬の一般的なライフサイクルとして、多くは2歳の夏から秋にかけてデビューします。まずは同じ歳の馬同士で競い、そのカテゴリーのチャンピオンを決め、翌シーズンにつなげていきます。3歳になると、日本ダービー等のクラシック競走を中心に、3歳馬同士のチャンピオンを決めます。勝ち上がった馬は、今度は先輩の4歳以上の馬に

混じって芝であたりダートであったり、また様々な距離の中から、馬の適性に合わせてそれぞれのカテゴリーの頂点を目指します。

4. ビジネスモデルとしての競馬

発売金について、昨年は1年間で3兆3134億円でした。このうち重賞競走が売上の3分の1を占めているので、いかにここを充実させるかが我々に課せられた課題です。

ちなみに払い戻しが75%、国庫納付金が約10%ですので、差し引いた15%程度が我々の運営資金として手元に残る構造です。

この運営資金のうちかなりのウェイトを占めているのは、賞金です。日本の1着賞金の最高額は、東京競馬場で行われるGⅠ競走であるジャパンカップ。そして年末に中山競馬場で行われる有馬記念です。これは1着馬に対して5億円が支払われます。先に紹介した0勝クラスでも、1着賞金は5600万円です。その他、出走手当などを支給します。ちなみに未勝利戦などの下のクラスも含めた賞金レベルは、世界的にもトップクラスです。

日本の場合、レースを実施するJRAが馬券を直接発売しているのので、発売金の収入から多額の賞金を提供できます。ただ諸外国は必ずしもそうではなく、例えばブックメーカーのような団体が発売を担っている場合は、そこからの分配金で賞金を出さなければなりません。そういった意味では恵まれたビジネスモデルであり、世界的にも注目されています。多額の賞金が生産者の方に還元されることで、それを今後は種牡馬や繁殖牝馬の導入によるさらなる血統の改良に使われたり、また調教や育成施設の建設や拡充等に投資されたりします。多額の賞金によって、日本の馬のレベルアップ、レースのレベル向上に貢献していると思っただけだと思います。

5. 国際化の流れ

GⅠでありますジャパンカップは国際招待競走として1981年に創設されました。当時、日本の競走馬のレベルはお世辞にも高いとは言えませんでした。日本の馬の質向上や先進諸国へのアピール、また当時は競馬に対して一般的に負のイメージが強かったため、スポーツ的な面もあることをアピールするといった目的でジャパンカップを創設しました。

最初の10年間、残念ながら日本馬が勝つたのはわずか2回。その後血統改良や競馬番組を通じた競争性を高めるような努力、さらに厩舎関係者や牧場の関係者による育成、調教技術の向上の取り組みもあり、日本の競走馬、レースのレベルは格段に上がりました。その結果、2006年以降19年連続で日本の競走馬が優勝しています。

もう一つ、国際化について日本は2007年にパートI国入りしています。世界的な競馬の国をパートI、パートII、パートIIIと区分けした本があり、それぞれの国で実施されている競走が記載されています。これを我々は「ブルーブック」と呼んでいます。パートIは競馬先進国により構成されており、1980年代は日本の競馬のレベルが低く、その後もなかなか国際的には認めてもらえないところもあり、2006年まではパートIIでした。それがパートIになったのは、一つは海外での日本の馬の活躍が認められたこと、そして競馬の実施に際して国際基準に適合させた形をとって、国際化を推進してきたことが理由です。また、2007年当時、2兆7000億円の発売金がありまして、競馬施行体としての成功が認められたこともあり、晴れてパートIの仲間入りを果たしました。

ただ、申請に携わった方に聞くと、これは西洋人中心の紳士クラブに入会申し込みをしているようなものであり、新たな条件が加わるなど、会議に出るたびにハードルを上げられ、そのリクエストに応えるために国内の調整をしなければならぬということ非常に苦労されたようでした。そのような苦労の末に今日の国際的な評価があるという意味で、エピソードとして紹介させていただきます。

6. 日本の競走馬の強さ

2008年は海外の競走に出走する馬や競争が非常に少なかったのですが、その頃から比べると、昨年の競走数、実際に出走したのべ頭数、出走した地域ともに、かなり増えています。海外の重賞競走の優勝数も増え、2022年では海外の重賞競走10勝で、うちGⅠ競走が3勝です。アウェイの中でそうした実績を上げているのも、日本のレベルが上がった証かと思っています。

2023年には、ジャパンカップを勝ったイクイノックスという馬が世界のナンバーワンホースに贈られるロンジンワールドベストレイスホースを受賞しました。加えて、ジャパンカップがロンジンワールドベストレースを受賞しました。これは、JRAの行う競走が世界のナンバーワンホースを決定するといふJRAが掲げてきた目標を具現化した瞬間かと思っています。

日本の馬やレースの評価が高まると、今まではあり得なかった話が出てきます。一例が凱旋門賞の主催者、フランスギヤロのCEOがわざわざ日本に来て、勧誘活動を行ったことです。輸送費も補助するという破格の待遇でした。30年くらい前に日本の競馬が半ば二流扱いされていたことを知っている私からすれば、隔世の感があります。誘致活動は今盛んに行われていますので、日本の馬は外に出て行く機会もかなり増えていると思います。最後になりますが、こうした日本の競馬が評価されるようになったのは、GⅠを中心としたわかりやすい競走体系を構築し、競馬を実施してきたことが、結果

的にお客様に支持され、発売金確保につながりました。そしてそれを原資とした賞金が関係する方々に再分配され、それが日本の馬のレベル向上に繋がるような形で活用されてまいりました。JRAの諸施策や関係者の様々な努力が複合的に混ざり合い、日本の今のレベルの高さ、評価の高さを作り上げていくというののが私から見た切り口です。日本の競馬はここ5、6年非常に良い循環の中に入っています。この良い流れが続けばいいと思っています。

講演後質疑応答

Q 多くの外国人騎手が来日していますが、日本の若手騎手の騎乗機会が減っているようにも思います。今後この方針は続きますか？

A 確かに若手騎手の育成という観点から言うと、騎乗機会を奪っているという側面は否めません。一方で、そういったジョッキーマンに対するニーズもあり、またそもそも日本の騎手の更なる技術向上という趣旨がありますので、この制度を廃止するという議論に関しては少なくとも私自身は承知していませんし、なかなかその方向にはならないのではないかと考えています。

Q 昔は4000mのレースもあつたように記憶していますが、長距離レースは復活するのでしょうか。

A 今、一番長い競走が3600mのステイヤーズステークスというレースです。正直に言いますと、3000mを超える距離は一定のニーズはありますが、過剰なニーズがあるかというと、決してそうではありません。生産界にバランス良く還元する観点からは長い距離の競走は一定数確保すべきですが、ただ今より距離の長い競走を積極的に設定するとなると色々議論はあるかと思っています。

Q 競輪や競艇、今後は力ジノも出てくるなかで、競馬は娯楽としてのどのように差別化をするか、また共存をしていくべきか。

A 競馬そのものの成り立ちとして、まず馬がいて人が関わる。例えば今年日本ダービーを勝ったクロワデュノールという馬は、北村友一騎手が乗り続けています。彼は犬怪我をしてそこからリハビリをして復帰して今年の日本ダービーに勝利しました。そういったストーリーを追っていただけたという意味では、他の公営競技とはかなり違うと思っています。

Q 海外に馬を輸送するのは、馬にとってもストレスになるかと思いますが、何か対策はされているのでしょうか。

A 基本的に海外に輸送するときには航空便のカーゴに載せることになり、トップホースは1頭で一つのストールと呼ばれる空輸用の箱の中に入れる形になります。輸送時間は旅客便とは違いくかなりの時間を要し、検疫を受けるなど様々なハードルをクリアしなければなりません。色々なところに日本の関係者が遠征し、長期輸送、環境の変化への対応のノウハウを積み上げてきていますので、そのあたりの対応力は年々向上しているように感じます。

編集後記

地政学的なリスクの高まり、気候変動、災害の激甚化、経済の衰退、物価の高騰など不安な年明けですが、なんとか良い年にしたいものです。(励ます会事務局)

→ 今月の賛助広告会員 ←

日鉄物産(株)
山陽特殊製鋼(株)
三和実業(株)
不動鋼板工業(株)
(株)メタルワン
芝本産業(株)

《 賛助広告募集中心 》